

嘔吐

Vomiting

嘔吐とは病気の名前ではなくて症状の名前です。嘔吐は我々獣医師が最も頻繁に遭遇する病気の症状の一つで、動物病院を受診される理由のうち皮膚病、下痢と並ぶくらい多いものと思われます。嘔吐から普通の獣医師が想像できる病気は正直いって山程あります。それぞれ獣医学の本に載っている病気の半分以上に該当する症状といっても過言ではありません。ですからこそ、中には診断が難しいものもあります。

原因

嘔吐の原因は山程あります。しかし、大きく分けると、薬剤や毒物、胃腸の閉塞、胃腸や腹腔の炎症、胃腸以外の原因(伝染病、腎臓病など)、その他(乗り物酔いなど)に分けられます。

症状

嘔吐、二次的に脱水や電解質異常、体重減少など。

診断法

一般的に行われるのは、一般血液検査、肝臓、腎臓、膵臓などに関する血液生化学検査、腹部のレントゲン検査や超音波検査です。より詳しくとなると消化管造影検査、内視鏡検査、内視鏡による病理組織検査などが行われます。また、一般病院ではなかなか難しいのですが、時にはCTやMRIなどが必要になることもあります。

様々な検査を行っても原因特定が難しいとか、病理組織検査が必要な場合などは試験的開腹といって外科手術によりお腹の中を直接観察することもあります。

治療法

通常、元気や食欲があるようであれば、対症療法的に内服薬を投与し2~3日様子を見ます。これには、その症状により制吐剤、制酸剤、消化管粘膜保護剤などを用います。また、あまりにも嘔吐の回数が多いとか期間が長い場合には血液中のナトリウムやカリウムなどの電解質を測定し、必要に応じて点滴を行います。さらに消化酵素剤、消化管運動促進剤、抗生物質や抗炎症剤などを用います。

自宅での看護法

ご家庭では、まず嘔吐が起こっている場合は24時間絶食をさせて消化管を休めてあげることが治療を手助けしてあげることがあります。また、場合によっては飲水も制限することがあります。この場合は少量の水分補給のために水の塊を与えたり、炭酸飲料を少量与えたりします。ただ嘔吐が激しい場合は制限せず水分を補給しなければいけません。この時に普通の水だけでなく電解質を補給してあげることが重要ですから、動物病院で経口電解質補給液などを処方してもらいたいでしょう。

24時間絶食させたら徐々に消化に優しいものから与えます。ホームメイドで作られるのもいいでしょうし、動物病院で胃腸に優しい処方食を購入し、与えるとより効果的です。嘔吐や下痢などの補助治療として食餌は非常に重要です。

ご家庭で作られる場合犬では、皮をとり茹でたとり肉(常識ですが骨付きはダメですよ)、赤みのひき肉、低脂肪のカッテージチーズ、パスタ、御飯、ジャガイモなどを組み合わせます。猫では、同じように皮をとり茹でたとり肉、ゆでた白身魚(皮なし)などを与えます。(基本は肉類1に対しジャガイモなどを2の割合)数日ならいいですが、やはり長期となると栄養バランスの考えられた処方食を与えるのが賢明です。

2~3日を単位として治療を行っていてもどうも改善がみられないようであれば先生に相談して、より詳しい検査をするなど、積極的に解決策を見つけていくことが重要です。

予防法

常識ですが、安価粗悪なペットフードを避け、混合ワクチン注射などを定期的に行うことは消化管障害を未然に防ぐ最も効果的な方法です。また、特に犬では散歩の時の拾い食いやゴミあさりなどには注意しましょう。

メモ

まず、ご家庭で飼育している動物が吐いていたら、何か薬を飲ませていないか考えて下さい。最近何かの病気の治療のために薬を投与していませんか?ほとんどの薬(特に経口投与の薬)は嘔吐の原因となります。特に、多くの抗癌剤、心臓の薬、抗生物質、非ステロイド系抗炎症剤などは嘔吐の原因となります。

また、毒物を摂取していませんか?散歩の途中に落ちていたものを食べたとか?置いてあった薬剤、化学薬品を食べたなどありませんか?周囲でなにか無くなっているもの(飲み込んでしまった可能性のあるもの)はありませんか?このような可能性のある場合は急いで動物病院を受診しましょう。

吐いているけど、元気もあり、食欲もある場合は乗り物酔いや過食、食餌の変化による可能性があります。ここ数時間のうちに車などでどこかへ行きませんでしたか?いつもより沢山の餌やおやつをあげませんでしたか?食餌の内容を変更しませんでしたか?過食の時はよく吐いたあとにすぐまた吐物を食べる動作をします。

嘔吐をしている場合は、一通りこれらの原因の可能性について考えてみて下さい。もちろん動物の状態が悪いとか、吐物に血が混じる、嘔吐の回数が多い、嘔吐している期間が長い場合には急いで動物病院を受診しましょう。



[広告] ▲上記QRコードで携帯から簡単アクセス可能..